

2015年の業績

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Urabe S, Isomoto H, Ishida T, Maeda K, Inamine T, Kondo S, Higuchi N, Sato K, Uehara R, Yajima H, Machida H, Chen C, Fukuda Y, Takeshima F, Nakao K, Tsukamoto K, Genetic polymorphisms of *IL-17F* and *TRAF3IP2* could be predictive factors of the long-term effect of infliximab against Crohn's disease, *BioMed Research International*, 2015, doi: 10.1155/2015/416838, 2015.
2. Muro T, Higuchi N, Imamura M, Nakagawa H, Honda M, Nakao K, Izumikawa K, Sasaki H, Kitahara T, Postoperative infection of endoscopic submucosal dissection of early colorectal neoplasms: a case controlled-study using a Japanese database, *J Clin Pharm Ther.*, 40(5), 573–577, 2015.
3. Kurosaki T, Nakasone C, Kodama Y, Egashira K, Harasawa H, Muro T, Nakagawa H, Kitahara T, Higuchi N, Nakamura T, Sasaki H, Splenic Gene Delivery System Using Self-assembling Nano-complex with Phosphatidylserine Analog, *Biol Pharm Bull.*, 38(1), 23-29, 2015.
4. Kodama Y, Yatsugi Y, Kitahara T, Kurosaki T, Egashira K, Nakashima M, Nakagawa H, Muro T, Higuchi N, Nakamura T, Sasaki H, Quaternary complexes modified from pDNA and poly-L-lysine complexes to enhance pH-buffering effect and suppress cytotoxicity, *J Pharm Sci.*, 104(4), 1470-1477, 2015.
5. Kodama Y, Ohkubo C, Kurosaki T, Egashira K, Sato K, Fumoto S, Nishida K, Higuchi N, Kitahara T, Nakamura T, Sasaki H., Secure and effective gene delivery system of plasmid DNA coated by polynucleotide, *J Drug Target.*, 23(1), 43-51, 2015.

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 馬場安里、中川博雄、室高広、樋口則英、中村忠博、佐々木均、北原隆志、N-methyltetrazaolethiol 基を有するセフェム系抗菌薬がワルファリンの抗凝固能に及ぼす影響、九州薬学会会報、69, 7-10, 2015.
2. 樋口則英、坂元利彰、橋詰淳哉、佐藤加代子、嶺 豊春、安藝敬生、川鍋早紀、中村忠博、佐々木均、北原隆志、病棟専任薬剤師による腎機能低下患者への医薬品適正使用推進の状況調査、日本病院薬剤師会雑誌、51(10)、1255-1258、2015.
3. 佐藤加代子、樋口則英、有吉貴美代、伊藤直子、橋詰淳哉、嶺 豊春、中村忠博、佐々木均、北原隆志、薬剤師のためのフィジカルアセスメント講習修了後の実施状況とその評価、日本病院薬剤師会雑誌、51(1)、49-53、2015.

4. 神田紘介、室 高広、城 正士、山下祐未、一瀬菜摘、高比良理愛、樋口則英、北原隆志、佐々木均、中村忠博、治験薬温度管理における温度一元管理システムの導入とその効果、日本病院薬剤師会雑誌、51(1)、29-33、2015.

【学会発表】

B 国内学会

(B-a) 招待講演、特別講演、受賞講演

1. 樋口則英、明日から実践！静脈栄養の処方設計について（教育セミナー）、第7回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会（福岡）、2015年10月.
2. 樋口則英、松永典子、佐藤加代子、稲岡奈津子、北原隆志、佐々木均、静脈経腸栄養療法に活かす！薬剤師のフィジカルアセスメント教育と実践、薬剤師部会企画セッション『NST 薬剤師におけるフィジカルアセスメントを考える』（招待講演）、第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会（兵庫）、2015年2月.
3. 泉野浩生、山野修平、相良郁子、松永典子、樋口則英、花田浩和、藤田文彦、シンポジウム17『病態と電解質異常』 Refeeding 症候群における電解質異常（招待講演）、第18回日本病態栄養学会 年次学術集会（京都）、2015年1月.

(B-b) 一般演題

1. 廣兼 誠、佐道紳一、木下真理子、森 善洋、吉岡大樹、当院におけるエドキサパンの使用実態調査、第25回日本医療薬学会年会（神奈川）、2015年11月.
2. 木下真理子、吉岡大樹、廣兼 誠、森 善洋、古殿真之介、急性心筋梗塞後に発症した薬剤性横紋筋融解症の1例、第25回日本医療薬学会年会（神奈川）、2015年11月.
3. 森 善洋、吉岡大樹、廣兼 誠、木下真理子、小坂幹子、峯 孝志、外来がん化学療法患者への薬剤師の介入ーがん患者指導管理料3の算定ー、第25回日本医療薬学会年会（神奈川）、2015年11月.
4. 黒崎友亮、中川博雄、内田隆寛、樋口則英、中村忠弘、佐々木均、北原隆志、GLP-1作動薬の消化器症状の発現頻度と患者リスク因子に関する検討、第25回日本医療薬学会年会（神奈川）、2015年11月.
5. 橋詰淳哉、里加代子、内田隆寛、赤松隼人、佐々木均、樋口則英、副作用回避を目的とした病棟薬剤師による薬学的介入の実態調査、第25回日本医療薬学会年会（神奈川）、2015年11月.
6. 天本翔子、橋詰淳哉、岸川礼子、安藝敬生、室 高広、佐々木均、樋口則英、薬剤師業務の定期研修体制の構築 ー休日日勤・夜勤業務のためー、第48回日本薬剤師会学術大会（鹿児島）、2015年11月.
7. 吉岡大樹、森 善洋、小坂幹子、竹本智子、川島めぐみ、石谷さとみ、岩永由紀子、峯 孝志、経口抗がん剤による悪心等に対するチーム医療の導入～薬剤師の取り組み

～、第 53 回日本癌治療学会学術集会（京都）、2015 年 10 月。

8. 佐道紳一、澤井豊光、須山尚史、当院における SSI 発生のリスク因子の探索と用量反応曲線を用いた予測、第 63 回日本化学療法学会西日本支部総会（奈良）、2015 年 10 月。
9. 藤田有紀子、佐道紳一、増山純二、黒坂升一、嵩下英次郎、地域連携を目指した NOAC 適正使用への取り組み、第 23 回長崎県救急医学会（長崎）、2015 年 9 月。
10. 小坂幹子、吉岡大樹、森 善洋、竹本智子、坂瀬彩加、釜崎篤子、宮川江利、猪野恵美、岩永由紀子、峯 孝志、経口抗がん剤による悪心等に対するチーム医療の導入、第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会（北海道）、2015 年 7 月。
11. 森 善洋、峯 孝志、竹本智子、田平聡子、宮川江利、ド・ケルコフ チャールズ、小坂幹子、吉岡大樹、チームレゴラフェニブ 適正使用を目指した体制の構築～チーム医療の推進～、第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会（北海道）、2015 年 7 月。
12. 大野 毅、峯 孝志、吉岡大樹、森 善洋、小坂幹子、松田一之、ドケルコフ・麻衣子、ドケルコフ・チャールズ、松尾繁年、東 尚、三島壯太、井上 諭、濱田隆志、江口 晋、乳癌 nab-PTX 化学療法の末梢神経障害に対する圧迫療法は皮膚微小循環の恒常性を改善する、第 23 回日本乳癌学会学術総会（東京）、2015 年 7 月。
13. 福田 実、本田琢也、小林和真、中富克己、中村洋一、中川博雄、樋口則英、栗原慎太郎、岡田雅彦、芦澤和人、院内化学療法レジメン整備～小児希少悪性疾患への取り組み、第 13 回日本臨床腫瘍学会学術集会（北海道）、2015 年 7 月。
14. 山下祐未、安藝敬生、能勢誠一、稲岡奈津子、岸川礼子、一瀬菜摘、中村忠博、樋口則英、北原隆志、佐々木均、薬剤師新人教育におけるメンター制度へのグループ制の導入、医療薬学フォーラム 2015（愛知）、2015 年 7 月。
15. 川鍋早紀、中川博雄、樋口則英、中村忠博、佐々木均、北原隆志、ラモトリギンの使用実態と副作用発現に関する調査、医療薬学フォーラム 2015（愛知）、2015 年 7 月。
16. 神田紘介、室高広、大脇裕一、天本翔子、一瀬菜摘、城 正士、中村忠博、北原隆志、佐々木均、樋口則英、体験型質疑応答実習の導入と効果—情報を聞き出す技能の向上—、第 18 回日本医薬品情報学会総会・学術大会（岡山）、2015 年 6 月。
17. 藤沢章令、樋口則英、吉井孝博、北原隆志、廣瀬弥幸、特定薬剤治療管理料の算定率向上対策とその効果、第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会（大阪）、2015 年 6 月。
18. 植木菜美、川崎英二、吉岡大樹、佐道紳一、藤田有紀子、中尾朋恵、鎌田昭江、吉村敏朗、兼松隆之、がん化学療法による味覚異常が 2 型糖尿病発症に関与したと考えられる 1 例、第 58 回糖尿病年次学術集会（山口）、2015 年 5 月。
19. 藤田有紀子、川崎英二、吉岡大樹、佐道紳一、藤田成裕、吉村敏朗、兼松隆之、2 型糖尿病治療におけるリラグルチド投与の nonHDL-C に及ぼす効果、第 58 回糖尿病年次学術集会（山口）、2015 年 5 月。
20. 徳永彩子、兒玉幸修、樋口則英、北原隆志、佐々木均、Dendrigrift poly-L-lysine を基材

とした遺伝子ベクターの有用性評価、日本薬剤学会第 30 年会（長崎）、2015 年 5 月.

21. 橋詰淳哉、樋口則英、田浦直太、中尾一彦、シスプラチンによる肝動注療法施行時の制吐療法の実態調査と評価、第 47 回ウイルス肝炎・肝疾患治療研究会（福岡）、2015 年 5 月.
22. 大野 毅、峯 孝志、吉岡大樹、小坂幹子、ドケルコフ麻衣子、ドケルコフチャールズ、松尾繁年、東 尚、眞田雄市、三島壯大、井上 論、濱田隆志、森 善洋、松田一之、乳癌 nab-PTX 化学療法の末梢神経障害に対する加圧ストッキング・スリーブ・予防薬処方 (3S) 治療における治療回数と末梢神経障害グレード、皮膚血流との関連、第 115 回日本外科学会定期学術集会（愛知）、2015 年 3 月.
23. 樋口則英、橋詰淳哉、佐藤加代子、岸川礼子、川鍋早紀、嶺 豊春、佐々木均、ステロイド骨粗鬆症に対する予防投与の現状調査、日本薬学会第 135 年会（兵庫）、2015 年 3 月.
24. 佐藤加代子、橋詰淳哉、伊藤直子、馬場安里、安藝敬生、嶺 豊春、佐々木 均、樋口則英、病棟専任薬剤師による注射薬投与ルート管理の実態調査、日本薬学会第 135 年会（兵庫）、2015 年 3 月.
25. 藤沢章令、樋口則英、佐藤裕美、横山哲也、北原隆志、廣瀬弥幸、特定薬剤治療管理料の算定率向上対策とその効果 多部門連携チームでの取り組み、平成 26 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議（滋賀）、2015 年 2 月.
26. 稲岡奈津子、樋口則英、松永典子、佐藤加代子、佐々木均、北原隆志、薬剤師のための栄養療法に関する研修会の実施とその評価、第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（兵庫）、2015 年 2 月.
27. 泉野浩生、山野修平、濱口理恵子、田嶋真理子、松永典子、樋口則英、三浦伊代、花田浩和、藤田文彦、安武 亨、栄養管理に対する興味を芽生えさせる取り組み、第 30 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（兵庫）、2015 年 2 月.